



福島県立橘高等学校

進路だより 第9号

令和6年12月16日

橘高校進路指導部



1 大学受験の準備について<3年生の保護者の方へ>

「大学入学共通テスト(1月18日(土)、19日(日)実施)」まであと33日と迫ってきました。現在3年生は、「自分のすべてをかけて学習している」といった感じで、学習に取り組んでいることでしょう。3年生の保護者の方々におかれましても、大学受験が終了するまで全力でお子様を支えていただきたいと思います。

さて、ここでは、3年生の保護者の方々に個別の大学入試に向けてご準備いただきたいことを改めて書いておきます。基本的なことのみ書いておきますので、大学受験について何かご質問等がございましたら、クラス担任や進路指導部へお尋ねください。

◎「大学入学共通テスト」まで

1 受験大学の絞り込み

冬季休業中に各クラスで三者面談が行われます。共通テストで自分の目標点に届くかどうかは、受験してみないとことには分かりません。しかし、その時になって、受験する大学をどうしよう、とならないように、目標点を上回った場合や目標点より低かった場合を想定した準備が必要です。国公立大の前・中・後期の組み合わせや、私立大学の受験の型や難易度の組み合わせ等を、難易度、受験日程や受験費用を考慮した上で本人の希望状況やご家庭の事情を総合的に判断して検討してください。

併願で受験する大学の選び方

- ① 第1志望校の代わりとなる大学(入学したいと思える大学であること)
- ② 第1志望校試験への練習(いきなり本番では、緊張して力が出ないことが考えられる)
- ③ 合格率アップの可能性のある入試方式を選ぶ(自分の得意科目による共通テスト利用等)

2 出願書類の確認

受験大学が決まったら、出願書類の準備です。多くの大学ではインターネット出願になっており、その書類も、ホームページからダウンロードする場合がほとんどです。その際、電子データの写真やプリンターが必要な場合が多くなってきていますので、各自で準備してください。

3 宿泊施設の予約

ホテルの予約も自分(または保護者)で行います。今はインターネットで簡単に予約できます。そのため、条件の良いところからすぐに埋まっていきますので、自分の入試日程と試験会場の確認をして、早めに予約をしてください。特に、首都圏の私立大学を考えている場合、複数大学の入試日程が重なったときに込み合うことが考えられます。また、地方の国公立大等の場合は、近くにホテルがないことも考えられますのでご注意ください。

◎「大学入学共通テスト」から1月末まで

4 特別時間割

3年生は「特別時間割Ⅱ」の期間になります。それぞれの大学入試の受験科目に合った講座を選択し、受講します。午前中は全員必修ですが、午後は希望者となります。昼食については、保護者と相談の上、各自で準備してください。



◎2月（自宅学習期間）から

5「特別時間割Ⅲ」

自宅学習期間に入りますが、「特別時間割Ⅱ」に準じた「特別時間割Ⅲ」の講座があります。一般入試を受験する生徒は、受講するのが原則となります。午前と午後で実施していますので、状況に応じて昼食の準備をお願いします。

2大学入試と「学力の三要素」について〈1、2年生（と保護者の方へ）〉

皆さんもご存じのことと思いますが、現在の3年生から教育課程が大きく変わりました。そこで大きな柱となっているのが新しい学力観である「学力の三要素」です。大学入試においても、「学力の三要素」に則した入学試験が実施されていますので、限られた紙面ではありますが、1、2年生の生徒と保護者の方々に現在の大学入試の状況についてお伝えします。

高大接続改革答申で示された学力の三要素とは、

①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力等」③「主体性・多様性・協働性」です。基礎的な知識や技能は当然必要です（①）が、ただ知っているだけでなく、物事をじっくり考え、根拠をもとに判断し、相手にわかりやすく伝える力が重要である（②）ということです。また、一人ひとりの優れた力も必要ですが、多様な人たちとコミュニケーションをとることで、一人では生み出せないようなよりよいアイデアを作り出していくことが大事だ（③）ということです。

これらを軸に小・中・高で教育を行い、大学教育へと発展させていくために、大学入試でも「学力の三要素」で評価することになった訳です。総合型選抜や学校推薦型選抜では大学ごとに、③「主体性・多様性・協働性」の評価を行っており、受験生本人の高校での活動記録を「活動報告書」（本人作成）や「推薦書」（教員作成）などで評価し、「面接試験」でさらに深く掘り下げて聞くのが一般的です。

次にこの「主体性・多様性・協働性」について具体的に見てみましょう。例えば部活動について、どんなにすばらしい大会実績があっても「学力の三要素」の視点では「活動報告書」や「推薦書」には何も書けません。

「部活動内ではこういった問題があったが、仲間と協力してこのように解決した」といった具体的なエピソードが必要になります。また、探究学習においても「こんなことを調べた」とか、「結論はこうなった」という結果だけではなく、「〇〇に問題意識を感じ、ある方向から問題解決を試みたがうまくいかなかった。次に別な方法でアプローチを図ってみたら、こんな結果が出た」といった、探究のプロセスが必要になります。

また、総合型選抜や学校推薦型選抜では、①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」の評価を行うために、多くの大学で「小論文」や「総合問題」といった形式の試験を実施しています。

1、2年生の中で、総合型選抜や学校推薦型選抜での受験を考えている人は、各教科の学力の向上だけを目指すのではなく、さまざまなことに積極的でなければいけません。部活動もさることながら、文化祭や学校行事、また、各教科の授業や探究活動への意欲的で深い取り組み、校外での活動など、自分がアピールできる材料をたくさん作ってください。また、高校3年間の活動内容を、その都度記録することがとても大切です。紙媒体でも電子媒体（文書、PDF、写真データ等）でも結構ですが、とにかく記録を残しておくことです。3年生の夏頃に「活動報告書」や「推薦書」に書くことのできる内容が何も無い、ということにならないようにしてください。

逆に言えば、上記のような内容が何も無い人は、総合型選抜や学校推薦型選抜には向いていないと言えます。そういった人は、①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」が主として評価される一般選抜での受験を目指してください。

これからは自分にとってどの受験の型に適性があるのか、そのためにはどんなことに力を入れていけば良いのかも考えて高校生活を送ってほしいと思います。

